

会報

# METAL FORM

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

No. 88

2023年10月

## CONTENTS

### ぽてんしゃる

- 2** 業界のイノベーションを実感したMF-TOKYO 2023 3つの視点で日本のものづくり産業をサポート  
経済産業省 製造産業局素形材産業室長 星野 昌志

### MF-TOKYO 2023 EXHIBITION REPORT

- 3** MF-TOKYO 2023 第7回プレス・板金・フォーミング展 結果報告  
コロナ禍明け、4年ぶりのリアル開催。猛暑にもかかわらず多くのご来場に感謝。

### ご案内

- 11** 「油圧プレスのメンテナンス<中級編>」  
油圧プレス専門部会が「油圧プレスのメンテナンス<入門編>」の続編として、より詳しいメンテナンス<中級編>を作成。

### INFORMATION FILING

- 13** 日鍛工 調査統計委員会 2023年暦年受注見通し  
鍛圧機械 全会員受注グラフ(月次業況調査)

### 報告

- 14** 報告I JIMTOF2024(第32回日本国際工作機械見本市)10月2日(月)より出展申込を開始!  
新聞報道から見た会員動向(2023年6月7日~2023年9月4日)

### 工業会の動き (7月~9月)

#### MF-TOKYO

- MF-TOKYO 2023 第7回プレス・板金・フォーミング展開催(7月12~15日 東京ビッグサイト)
- MF-TOKYO 2023 歓迎レセプション(7月12日 東京ビッグサイト)
- MF-TOKYO 2023 日鍛工会員出展担当者慰労会(7月13日 東京ビッグサイト)

#### 理事会

- 第82回(7月20日) 定款規則集と競争法コンプライアンスの説明、MF-TOKYO 2023結果報告、中小企業青年委員会の改名と分科会設置、新事務局長委嘱についてなど。

#### 正副会長会

- 第48回(7月20日)事務局長採用について。

#### 委員会

- 企画委員会
  - 第1回(9月6日)検討事項(産業ビジョン、商品教育)、「物流2024年問題」についてなど。
- 産学連携推進分科会
  - 第24回(9月7日)2023年度共同研究結果についてなど。
- ISO/WG1-JIS対策委員会
  - 第33回(7月28日 オンライン)原案作成委員会立ち上げについてなど。
  - 第34回(8月8日 オンライン)第2部(5.4.2以降)及び第3部の内容確認についてなど。
  - 第35回(9月8日 オンライン)第1部~第3部清書版の内容確認についてなど。
- 調査統計委員会
  - 第1回(7月26日)2023年暦年・年度受注見通しの審議についてなど。

#### 専門部会

- 鍛造プレス専門部会
  - 第1回(8月30日)2023-2024年度の新規テーマについてなど。

#### ■油圧プレス専門部会

- 第1回(9月14日)2023-2024年度の新規テーマについてなど。
- レーザ・プラズマ専門部会
  - 第1回(9月20日)レーザ機器管理者講習、米国フロン冷媒規制についてなど。
- レーザサービス分科会
  - 第20回(9月22日)CO<sub>2</sub>レーザ加工機定期検査項目の精査について。

#### 国際会議

- ISO/WG1国際会議
  - 第29回(9月14日 オンライン)SO 16092-1,3 の改訂について。

#### 会員入会

- 2023年8月1日付入会
- 株式会社 KHエンジニアリング  
代表者 木村 敏章 代表取締役社長  
会員代表者 木村 敏章 代表取締役社長

#### 会員退会

- 株式会社 小島鐵工所(2023年6月末日付)  
株式会社 ニッセー(同)



## 会報 METAL FORM No.88 2023年10月

発行所/一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館3階

TEL.03-3432-4579 FAX.03-3432-4804 URL: <https://j-fma.or.jp/>

発行人/生田 周作 発行/季刊: 1月、4月、7月、10月の4回発行

■本誌に掲載した記事の無断転載を禁じます。

## 業界のイノベーションを実感したMF-TOKYO 2023 3つの視点で日本のものづくり産業をサポート

経済産業省 製造産業局素形材産業室長

星野 昌志



### はじめに

日本のものづくりを発展させたいという志を抱き、経済産業省に入省しました。今回の素形材産業室長への就任で、製造産業局での職は三度目となります。大学時代は機械工学を専攻し、時には、油にまみれながら自動車のエンジンを分解して構造を理解し、再度組み立てるといった授業に没頭しました。

### ものづくり産業を支える3つの視点

入省後、海外勤務を含め様々な部署を渡り歩いてきました。その経験を活かし、日本のものづくり産業及びサプライチェーン全体の発展に貢献してまいります。特に、「エネルギー」、「国際」、「経営」という3つの視点が、現下の社会構造変革に伴う諸課題に対処していく上で重要と考えています。

まず、「エネルギー」については、世界がカーボンニュートラルに向けた取組を進める中で、日本の立ち位置や構造的課題などを踏まえて、皆様と議論しながら、現実的かつ多様で持続可能な成長を目指した取組を進めていきます。省エネなど実際のビジネスに役立つ技術の一層の導入も重要です。これまで資源エネルギー庁やアブダビに本部を持つ国際再生可能エネルギー機関で勤務した経験もシェアできればと思います。

次に、「国際」ですが、国内外の産業構造の変化を注視しつつ、国内のみならず、世界市場の動向を押さえ、効果的な海外展開や取引などを行うことが不可欠です。日本企業が不確実な地政学的影響にもしっかりと対応し、国際サプライチェーンの中で引き続き地位を確立していけるよう、政府としての支援

や情報提供を行います。

そして、「経営」については、財務や人材、取引環境をはじめ、各企業が継続的に取り組まれている課題に対して、効果的な政策ツールを紹介しながら、支援を続けてまいります。とりわけ新分野への事業展開、技術開発など前向きな投資に対する補助金や税制支援、取引適正化のためのパートナーシップの取組などを推進します。

### MF-TOKYO 2023での手応えと、 鍛圧機械産業へのメッセージ

7月に、MF-TOKYO 2023に足を運び、業界の進歩を目の当たりにしました。各社が自動化、省エネ化、ソフトウェア開発といった技術を強化することで、鍛圧機械自体の高性能化だけではなく、全体としてスマートファクトリー化が一層進み、GXとDXをはじめとする多分野融合によるイノベーションが生まれていくという確信を持ちました。

今後、ものづくり産業がカーボンニュートラルを目指すにあたって、鍛圧業界が果たす役割は非常に大きいと思います。GXの推進を今後もリードしていくことに期待しています。また、人材育成についても、「ものづくりは人づくり」。国内の若手の育成、外国人材や女性の活躍などにも、業界とともに注力していきたいと思っています。そのためにも、優れた製造現場、そしてものづくりの重要性や先進性に関する積極的なPRについて、日本鍛圧機械工業会ははじめ業界の皆様をお願いしたいと思います。私も業界の発展のために全力でサポートしてまいります。

(談)

METAL  
FORMING &  
FABRICATING  
FAIR  
TOKYO

日本鍛圧機械工業会主催

# MF-TOKYO 2023 第7回プレス・板金・フォーミング展 結果報告



## コロナ禍明け、4年ぶりのリアル開催。 猛暑にもかかわらず多くのご来場に感謝。

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会  
代表理事会長

北出 安志

4年振りにリアル開催したMF-TOKYO 2023 第7回プレス・板金・フォーミング展が、盛況のうちに無事終了しましたことを報告いたします。出展規模は過去最大規模の2019年開催には若干及びびませんでした。過去最多の5ホールを使用して233社1,677小間で開催することができました。また、来場者数は28,219名と目標の32,000名には届かなかったのは残念でしたが、会場には熱心なご来場者様がお越しになり、それぞれのブースでは活気のある商談が行われていたと推察いたします。初日には熱中症警戒アラートが発令されるなど会期を通して猛暑であったにもかかわらず、多くの方にご来場頂きましたことに感謝申し上げます。

これもひとえに、ご出展頂きました皆様を始め、ご後援やご協賛を賜りました関係各位のご支援・ご協力の賜物であると心より御礼申し上げます。

コロナ禍は一定の収束となったものの、他の産業展示会の来場者数減を鑑みますと出張制限などの行動様式の変化により、ある程度の来場者の減少は避けられないとも感じておりました。2019年開催の来場者数は30,113名でしたので、今回約6%減で収まった事は、本展示会に対するご来場の皆様の期待の表れと思っております。重ねて感謝を申し上げます。

MF-TOKYO 2023の副題は、「人と地球にやさしい技術、確かな未来のために」を掲げました。これは昨今のカーボンニュートラルへの対応を意識したのですが、各社の展示でも省エネ性能の高い機械やIoTを活用してCNに貢献する機械などの展示が見られ、またEV用部品製造に資する機械やラインの提案など、いわゆるライフサイクルでCNに貢献する展示などもあり、注目を集めていたと思います。



● 主催者挨拶  
北出 安志 日本鍛圧機械工業会会長



● 来賓祝辞  
星野 昌志 経済産業省素形材産業室長



● 来賓祝辞  
久保木 孝 日本塑性加工学会産学連携委員長

- 副題 人と地球にやさしい技術、確かな未来のために
- 会期 2023年7月12日(水)～15日(土) 9:00～17:00  
(最終日は16:00)
- 会場 東京ビッグサイト 東4・5・6・7・8ホール
- 出展者数 233社・団体(共同出展含め270社・団体)  
<前回2019年開催:254社・団体(同299社・団体)>  
海外系出展:14カ国54社<前回14カ国69社>

- 出展小間数 1,677小間<前回1,717小間>
- 来場者数 28,219名<前回30,113名>  
(うち海外来場者1,015名<前回1,018名>)
- 7月12日(水) 5,326名
- 7月13日(木) 7,027名
- 7月14日(金) 11,057名
- 7月15日(土) 4,809名

日本塑性加工学会様には、初回より多大なご協力を頂いておりますが、今回も学会テクニカルセミナー、16ブースによる研究室展示など「塑性加工」の学術情報を多数発信頂きました。また、学生誘致企画「ルートマップ」と並行して、大学キャンパスと東京ビッグサイト間の直行バスの運行でもご協力を頂きました。これは、日本塑性加工学会様に籍を置かれ、片道2時間程度に位置するキャンパスにご所属の先生方にお声掛けをし、今回、宇都宮大学、群馬大学、国士舘大学、東海大学、東京農工大学、日本大学、早稲田大学の七つのルートでのバス運行に136名の学生諸君が参加し、他に研究室ブースの学生諸君なども含め202名が「ルートマップ」企画に参加頂きました。将来の塑性加工の研究者や鍛圧機械産業を目指す学生が増えることを願い、次回以降のMF-TOKYOでも継続して取り組みたいと考えております。

同じく初回から特別協賛を頂いております日本鍛造協会様からは31社・団体の会員様が展示参加されました。日本金属プレス工業協会様、日本工作機械工業会様、日本ねじ工業協会様、日本ばね工業会様、日本ロボット工業会様、レーザ協会様にもご出展頂きました事、感謝申し上げます。

MF-TOKYOは、展示会だけではなく講演やセミナーなどによる情報発信も重視しております。特別講演では、中央大学研究開発機構フェロウの新井先生から「レーザーによるモノづくりの未来 - 誕生から明

日の産業応用まで -」を、岐阜大学副学長の王先生からは「プレス技術の近未来予想図」をご講演頂き、多くのかたが聴講されました。そして学会テクニカルセミナーでは23講座、出展者テクニカルセミナーでは75講座ものセミナーが実施されました。

鍛圧機械と塑性加工技術の総合展であるMF-TOKYOは、それらの最新の機械と技術を国内外に情報発信する最適の“場”であり“機会”であると確信しております。日程はまだ決まっておりませんが、次回の2025年開催も、よりよい“場”と“機会”を提供するべく尽力してまいります。皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。



● 乾杯発声  
中塚 尚樹 広報見本市委員長



● 中締め  
井水 治博 日刊工業新聞社社長



● 多くの方にご出席いただき、活気が溢れる歓迎レセプション会場



## 日本塑性加工学会の MF-TOKYO 2023への特別協賛

一般社団法人 日本塑性加工学会  
令和5年度産学連携委員会 委員長

久保木 孝（電気通信大学・教授）

MF-TOKYOが、ついにコロナ禍を経て4年ぶりにリアル開催となった。日本塑性加工学会では、特別協賛学会として、2009年より参画させていただいている。日本鍛圧機械工業会との協調体制によって、鍛圧機械技術のさらなる発展・活性化に貢献し、当該技術分野の将来の担い手である学生に関心を持ってもらうことを目的としている。第58期理事会の産学連携委員会は、日本鍛圧機械工業会と共同で、以下の企画を立案・実行したので、概要を報告する。

今回のMF-TOKYOでは、①「Carbon Neutral (CN)に資する機械」、②「Connected Industries」、③「学会・出展者テクニカルセミナー」、④「学会誘致 ルートマップ企画+学生専用バス運行」がメイントピックスとなっているが、日本塑性加工学会では、特に③と④を中心に協力した。

### 1)学会テクニカルセミナー

日本塑性加工学会の学術賞および技術開発賞を受賞した正会員および

企業会員に受賞講演をお願いし、最先端の塑性加工技術を紹介して頂いた。加えて、プレス加工や鍛造の分野で活発に活動している大学および公設研究機関の研究者に講演をお願いした。塑性加工関連15件に、レーザー加工学会、日本ばね学会、日本ねじ研究協会、レーザー協会による講演を加え、合計23件のセミナーが開催され、総計865名の聴講者を得て、大変盛況であった。

### 2)大学研究室発表会・

#### 大学研究室展示ブース

大学研究室展示ブースでは、1研究室当たり2m×2mの区画が提供された。展示パネルや実験サンプルなどを用いて、教員や学生が来場者に熱心に研究成果を説明していた。大学研究室発表会では、日本塑性加工学会の井村事務局長より学会の活動状況が紹介された。続いて、塑性加工学・塑性力学関係の研究を行っている16の大学研究室などから、持ち時間15分で研究内容や活動状況が紹介された。

### 3)特別講演

#### 「プレス技術の近未来予想図」

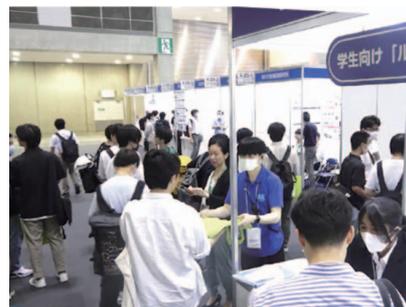
岐阜大学の王 志剛 教授に「プレス技術の近未来予想図」と題して、中小企業が次世代の加工メーカとしてさらに躍進するために必要な情報を紹介いただいた。王 教授は、2006年に金型創生技術研究センター（現 地域連携スマート金型技術研究センター）を立ち上げ、加工メーカとのコラボレーションでさまざまな研究を進めておられおり、聴講者にとって役立つ情報が得られたと考えている。

### 4)学生誘致プログラム、

#### ルートマップと無料送迎

前回に引き続いて、学生たちが“出展メーカ・ルートマップ”にしたがって各社のブースを巡回し、ノベルティ商品を収集する企画を催した。今回も日本鍛圧機械工業会の御支援を得て、大学キャンパスからMF-TOKYOの会場まで直接バス送迎するサービスを実施した。今回は7大学より136名の学生がバス送迎サービスを利用した。東海大学からは58名もの学生に利用いただいた。これからの産業の担い手である学生たちに鍛圧機械技術の分野に関心をもってもらい、今後の当該分野の発展につながることを期待している。

最後になりましたが、多大なる御支援を頂戴した、大学および企業関係者各位、ならびに日本鍛圧機械工業会および日刊工業新聞社の皆様に深く感謝いたします。



## 学生来場誘致企画

MF-TOKYOでは、日本塑性加工学会様の協力のもと、学生の来場促進に取り組んでいます。これは、将来の塑性加工の研究者や鍛圧機械産業を目指す学生が増えることを期待し企画しているものです。

### 「ルートマップ」企画

## MF-TOKYO 2023 Route Map



15の大学等の学校から202名の学生が参加。  
(後述の学生バスツアー参加を含む)

#### 参加学校名：

宇都宮大学、金沢大学、群馬大学、  
国土館大学、芝浦工業大学、  
千葉工業大学、電気通信大学、東海大学、  
東京工業大学、東京都立大学、  
東京農工大学、長野工業高等専門学校、  
日本大学、福井大学、早稲田大学

### 学生専用バス運行(学生バスツアー)企画

## MF-TOKYO 2023 Bus Tour

前回2019年開催では、2ルート(茨城大学、東京農工大学・早稲田大学)でしたが、今回は7ルートで実施し、136名の学生が参加しました。

参加日付	大学・キャンパス名	参加者の主な所属	参加数
7月13日(木)	群馬大学 桐生・太田キャンパス	大学院 理工学府、理工学部	13名
	早稲田大学 西早稲田キャンパス	大学院 基幹理工学研究科	5名
	宇都宮大学 陽東キャンパス	大学院 工農総合科学専攻、工学部	18名
7月15日(土)	東京農工大学 小金井キャンパス	大学院 機械システム工学専攻、工学部	18名
	国土館大学 世田谷キャンパス	理工学部	11名
	東海大学 湘南キャンパス	工学部	58名
	日本大学 津田沼キャンパス	大学院 機械工学専攻、生産工学部	13名

東海大学新聞(8月1日発行号)や東海大学オフィシャルサイトの『工学部ニュース』(7月27日付)で学生バスツアーが掲載されました。

**鍛圧機械の国際展示会「MF-TOKYO 2023」のバスツアーに参加しました**  
2023.07.27

工部局機械工学科の2年次生が7月15日に、東京ビッグサイトで開催された鍛圧機械の国際展示会「MF-TOKYO 2023」(主催：一般社団法人日本鍛圧機械工業会、日刊工業新聞社)のバスツアーに参加しました。2009年から2年に1回開かれていたMF-TOKYOは、工作機械などの切削加工を除く金属加工機械・金属成形機械が一室に集まる国内唯一の展示会です。日本鍛圧機械工業会では、多くの学生に鍛圧加工技術や鍛圧機械について高度な知識を、学生や中高生に鍛圧機械産業を目指してもらうこと、参加も希望する大学を対象にバスツアーも企画。道田健明講師が担当する授業「機械加工」も履修する2年次生約60名が参加しました。

湘南キャンパスからバスで現地を訪れた学生たちは、初めに日本鍛圧機械工業会の部長 栗村 昌成氏から展示会の概要などについて説明を受けました。コロナ禍を経て4年ぶりに対面での開催となったMF-TOKYOには展示外から233団体も参加。学生たちは自分の興味のあるブースを訪れ、担当者から説明を受けました。学生たちは、「授業で学んだ鍛造や曲げ、深絞り加工などの技術を実際に見ることができ、知識がより深まりました」「それぞれの企業にどのような強みがあるのかも聞けて、就職活動にも活かせると思いました」「これまでのほほんとした雰囲気を受けましたが、「これが機械工学科なんだ」と強く実感できました。精密機械との融合や新しい技術の開発が盛んになり、よい時間を過ごせました」と、口々に感想を話していました。

日本鍛圧機械工業会の専務理事の生田 周作氏は、「さまざまな会社が技術を駆使して加工物を作り出していると感じ、将来の進路を考えるうえでも大いに役立ったのではないだろうか。塑性加工や機械工学の領域が世の中にあゆる分野で使われていることに自信を持ち、これからは日々精進してほしい」と学生たちにメッセージを送りました。道田講師は、「実際の機械を自分の目で見て、高品質な製品を効率よく製造できる日本の産業の強みや、就職先の選択としてBtoBの企業にも目を向けてほしい」と考え参加しました。授業で学んだ知識や専門用語を使って説明員の方々と話すことで、自信につなげてくれたのではないかと感じています」と語りました。

■ 学会テクニカルセミナー/日本塑性加工学会研究室研究発表

学会テクニカルセミナー (法人格略)			
【日本塑性加工学会】			
日付	所属	講演者	テーマ
7/12 (水)	本田技研工業	四輪事業本部 ものづくりセンター スタッフエンジニア 山田 大志 氏	車体プレスパネルにおける割れ検査システムの開発【R4日本塑性加工学会 技術開発賞一般企業】
	ヤマナカゴーキン	技術企画担当部長 金 秀英 氏	デジタルエンジニアリングの活用による鍛造設計の高度化【R3日本塑性加工学会学術賞】
	阪村機械製作所	技術部 係長 岡田 泰雄 氏	サーボ駆動フォーマーでの機械式油圧発生装置を利用した鍛造工法【R3日本塑性加工学会技術開発賞 中小企業】
	名古屋工業大学	教授 北村 憲彦 氏	精密鍛造における潤滑技術の高度化に関する研究・開発【R1日本塑性加工学会学会大賞】
7/13 (木)	ニッセー	専務取締役 天野 秀一 氏	世界初の量産普及型緩まないねじを転造工法で開発【R3日本塑性加工学会技術開発賞 中小企業】
	静岡大学	教授 早川 邦夫 氏	製造工程を考慮した塑性加工部品の強度予測
	横浜国立大学	准教授 前野 智美 氏	鋼管およびアルミニウム合金板のホットスタンピング【R2日本塑性加工学会学術賞】
7/14 (金)	東京大学	生産技術研究所 特任研究員 岸本 拓磨 氏	医療用途を目指した生体吸収性マグネシウム合金薄肉極細管の革新的ダイレス引抜き加工
	芝浦工業大学	教授 吉原 正一郎 氏	マグネシウム合金の塑性加工と医療機器への展開
	東京工業大学	教授 吉野 雅彦 氏	鋼材の結晶組織微細化に及ぼす加工様式の影響
	東京農工大学	教授 桑原 利彦 氏	高精度板材成形シミュレーションのための材料モデリング
7/15 (土)	電気通信大学	教授 久保木 孝 氏	管材および板材を対象とする新しい成形方法の開発
	日本大学	教授 星野 倫彦 氏	難燃マグネシウム合金の異周速圧延によるしぼり成形性の向上
	大阪大学	准教授 松本 良 氏	ねじり付加鍛造技術の開発
	福井大学	教授 大津 雅亮 氏	ニューラルネットワークによるインクリメンタルフォーミングのツールパス作成
【レーザ加工学会】			
7/12 (水)	日産自動車	生産技術開発センター エキスパートリーダー 樽井 大志 氏	自動車産業におけるカーボンニュートラルの取り組みとレーザ加工
	富士高周波工業	代表取締役 後藤 光宏 氏	金型業界におけるレーザ焼入れ・レーザクラディングの使い方
【日本ばね学会】			
7/13 (木)	新東工業	サーフェステックカンパニー グループマネージャー 小林 祐次 氏	ショット&レーザピーニングと残留応力
	明治大学	専任教授 納富 充雄 氏	弁ばねの製造過程と集合組織
【日本ねじ研究協会】			
7/13 (木)	広島大学	名誉教授 澤 俊行 氏	ねじに係わる事故例とその原因
	本田技研工業	完成車開発統括部 アシスタントチーフエンジニア 白川 敦士 氏	自動車とねじ
【レーザ協会】			
7/14 (金)	千葉大学	教授 比田井 洋史 氏	レーザによるガラス内部の加工および微細穴あけ
	埼玉大学	教授 池野 順一 氏	硬脆材料のレーザスライシング技術

日本塑性加工学会研究室研究発表			
日付	所属	講演者	テーマ
7/12 (水)	日本塑性加工学会	事務局長 井村 隆昭 氏	日本塑性加工学会の紹介
	金沢大学 設計製造技術研究所	准教授 立野 大地 氏	熱可塑性CFRPの塑性加工の研究
	国土館大学 大橋研究室	教授 大橋 隆弘 氏	鋼板側から作業可能な摩擦攪拌成形を利用した鋼-アルミの機械的接合
	静岡大学 工学部 塑性加工研究室	教授 早川 邦夫 氏	静岡大学における塑性加工、塑性力学研究の紹介
	日本大学 生産工学部 前田・鈴木研究室	助教 鈴木 康介 氏	落花生莢を利用したリサイクル複合材料の成形
	東京農工大学 桑原研究室	教授 桑原 利彦 氏	板材の高精度材料モデリングに資する各種試験方法の開発
	東京工業大学 吉野研究室	教授 吉野 雅彦 氏	微細加工による材料機能創出
	木更津工業高等専門学校 ロボットものづくり研究室	准教授 関口 明生 氏	木更津高専における逐次成形の取組みのご紹介
7/13 (木)	東京電機大学 塑性加工研究室(柳田研究室)	教授 柳田 明 氏	加工による素材の高機能化と塑性現象の応用
	長野工業高等専門学校 宮崎研究室	准教授 宮崎 忠 氏	衝撃現象を利用した塑性加工の紹介
	芝浦工業大学 生産加工プロセス研究室	教授 青木 孝史朗 氏	芝浦工業大学 生産加工プロセス研究室における材料創成・特性評価の紹介
7/14 (金)	日本大学 理工学部 塑性加工研究室	教授 星野 倫彦 氏	CFRTPのプレス成形時の変形挙動に関する観察
	福井大学 大津研究室	教授 大津 雅亮 氏	福井大学 大津研究室の研究紹介
	早稲田大学 鈴木研究室	助手 坂口 颯 氏	金属マイクロチューブの表面平滑化に寄与する結晶塑性シミュレーション
	日本塑性加工学会 板材成形分科会	大同大学 教授 轟森 秀夫 氏	日本塑性加工学会板材成形分科会の紹介
	日本塑性加工学会 鍛造分科会	福井大学 教授 大津 雅亮 氏	鍛造分科会の活動紹介 -高精度・高機能な鍛造品を目指す産学官情報の交換・人材育成-
	東京都立大学 先端加工工学研究室/微細加工研究所	教授 楊 明 氏	DXIに向けたプレス加工の見える化・知能化技術



## 特別講演

日付	講演者	テーマ
7/13 (木)	中央大学研究開発機構 フェロー 新井 武二氏	レーザーによるモノづくりの未来 ー誕生から明日の産業応用までー
7/14 (金)	岐阜大学 副学長 王 志剛氏	プレス技術の近未来予想図

## 講演

**プレス技術 × 型技術** Presents 時代の変化を追い風に変える 加工メーカーの新視点

日付	講演者	テーマ
7/12 (水)	日本金型工業会 技術顧問 横田 悦二郎氏	中小加工業にこそ“ものづくり”の主導権がある！ ～今まさに100年に一度のチャンスが到来！～
7/13 (木)	シムックスイニシアティブ 代表取締役 中島 高英氏	中小企業でもサプライチェーン排出量の「見える化」で利益を出せる！ ～GX（グリーントランスフォーメーション）への道筋～
7/14 (金)	オフィス・キートス 代表 新開 潤子氏	営業力が会社を救う ～3つの失敗から学ぶ、ひとりでもできる加工屋の「営業」～



中央大学研究開発機構  
フェロー  
新井 武二氏



岐阜大学  
副学長  
王 志剛氏



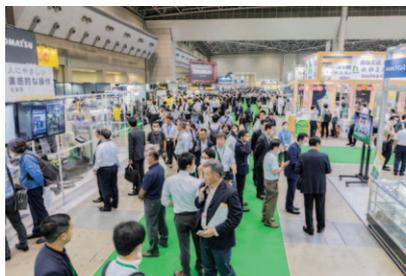
日本金型工業会  
技術顧問  
横田 悦二郎氏



シムックスイニシアティブ  
代表取締役  
中島 高英氏



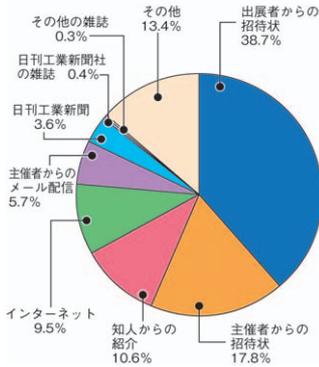
オフィス・キートス  
代表  
新開 潤子氏



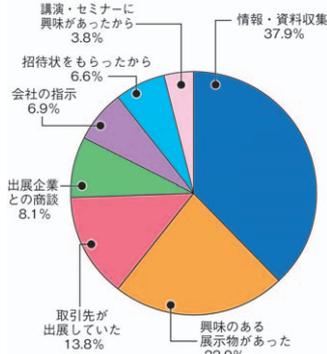
来場者サンプル調査の「来場目的の達成」は、これまでの7回開催中で最も高い評価の85.6%（前回83.6%）で、そのうち「十分達成された」は、初めて20ポイント台の26.0%と来場者の満足度合いは高かったと言える。また、出展者アンケートの「本展に出展した全体的感想」も83.1%と過去最高の評価であった。

入場登録情報による来場者分析 (28,219人)

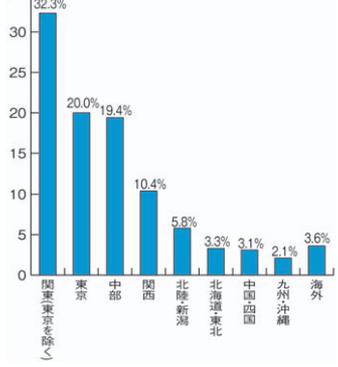
□本展を何で知りましたか？



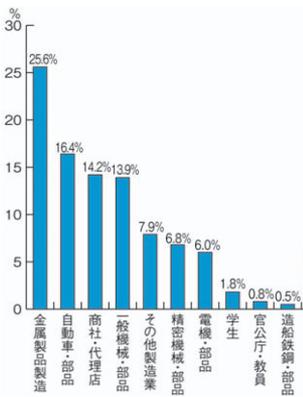
□本展にこられた理由は何ですか？(複数回答可)



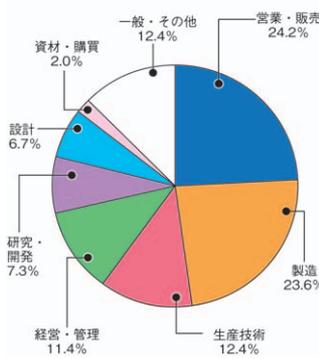
□どちらから来られましたか？



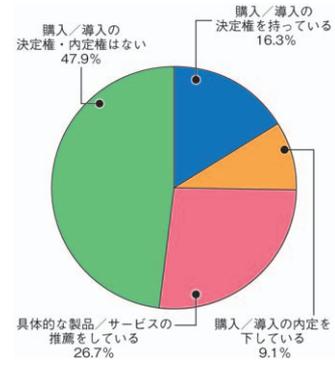
□業種は？



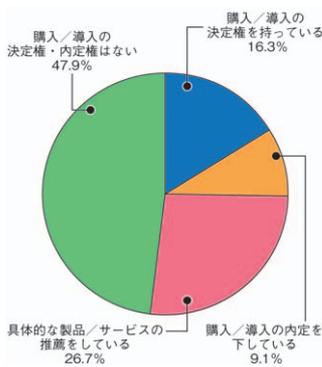
□職種は？



□お役職は？



□製品導入に際してどのように関与されていますか？

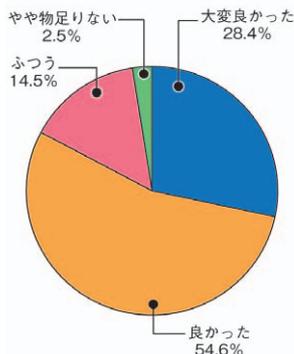


□関心をもった機種は何ですか？(複数回答可)

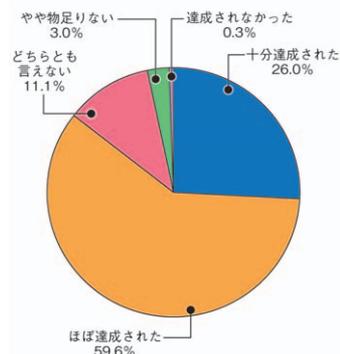


来場者アンケート (400人のサンプル調査)

□本展示会の会場構成の感想をお聞かせください



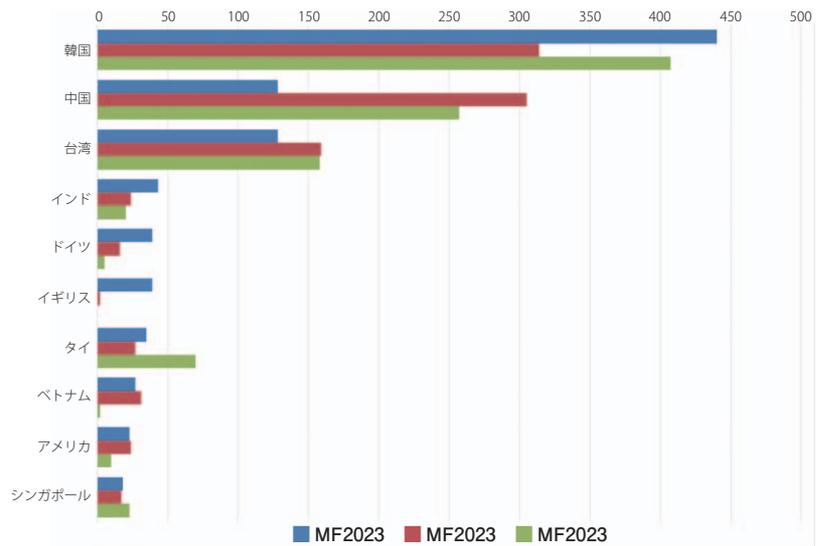
□ご来場の目的は達せられましたか？



海外来場者の動向

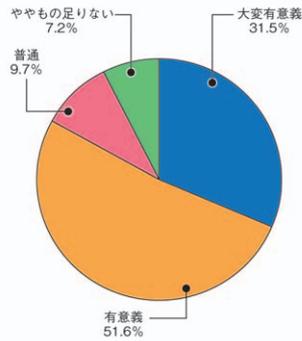
今回の来場者数上位10カ国の過去3回分の動向をグラフにした。  
 今回の特徴は、コロナ禍対策による中国の来場者減と過去来場数が少なかったイギリスが大幅に伸びた点が挙げられる。  
 また、数は少ないものの、これまで来場の無かった南米や中東の国々からの来場があった。

□海外来場者の国別参加者数(前回比較)

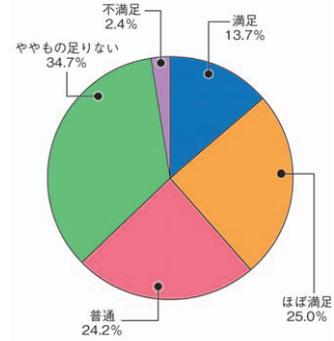


出展者アンケート 回答数127社(会員54社 非会員73社)

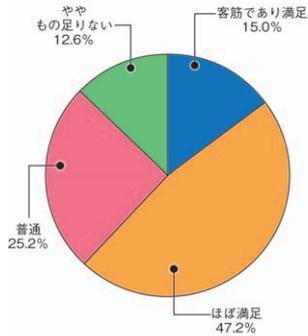
□本展に出展した全体的感想について



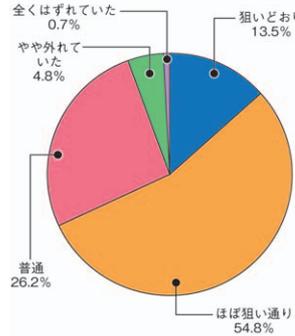
□来場者数について



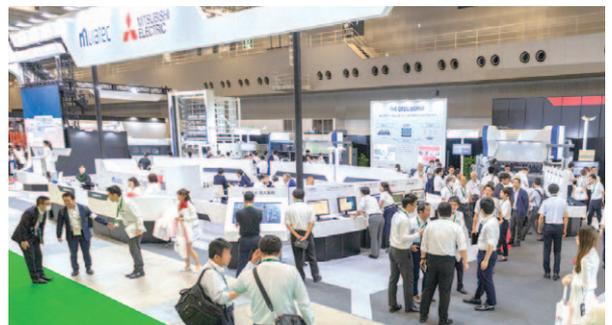
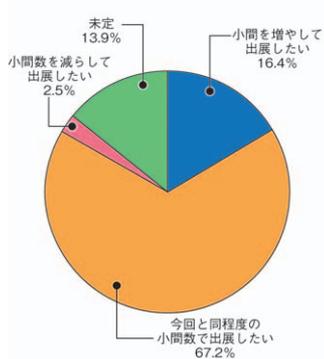
□来場者層について



□説明を聞いていただいた来場者は狙いとしたユーザー層でしたか?



□次回の出展について







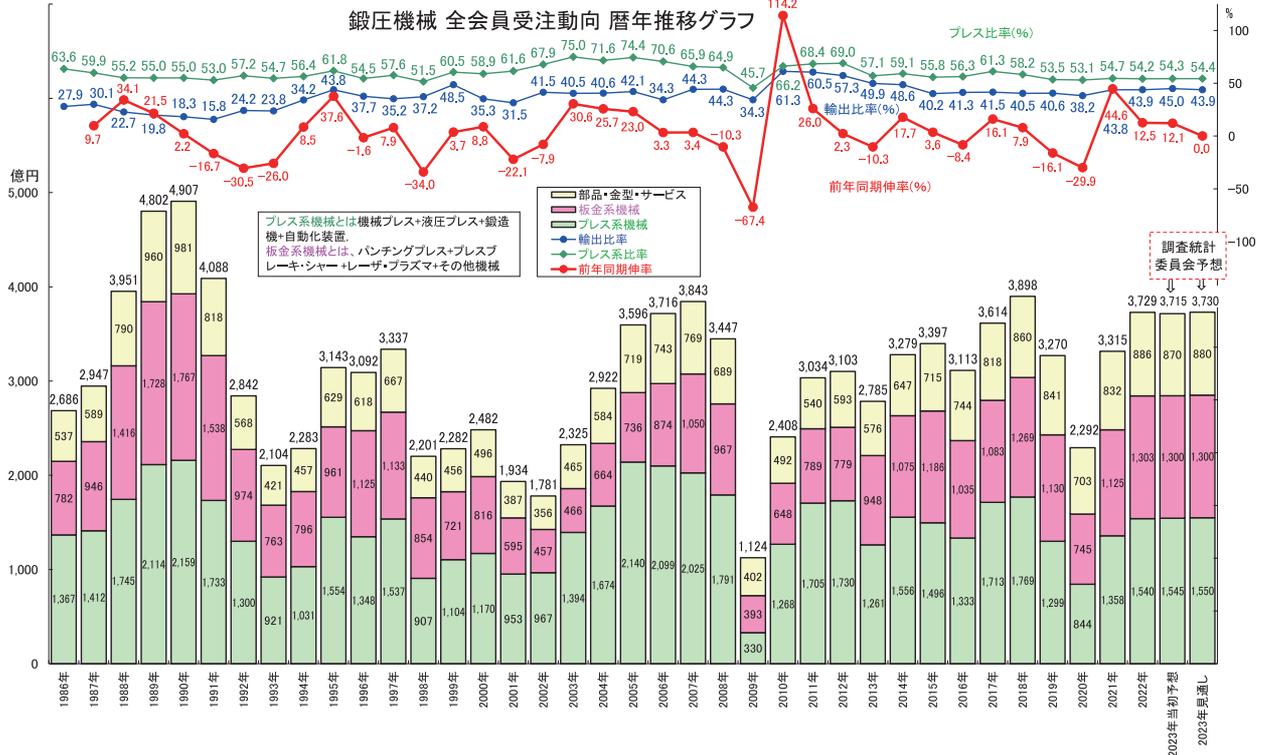
概況 : 2023暦年の受注見通しは3,730億円と前年の横ばいとみだ。新型コロナも収束はしていないが、経済活動は元に戻ってきており、国内では政府による経済対策等も奏功緩やかな回復基調がみられる。海外では中国経済の停滞やウクライナ侵襲による原材料・エネルギー価格の高騰といったマイナス要因が継続して存在する一方で、半導体不足の緩和、EV関連での引き継ぎの設備投資等が期待できる。

総じて、2022年と比べてプラス・マイナス要因はあるものの、新たにインバトとなる懸念材料がみられないこともあり、受注は2022年と同程度で推移するものと予想。

機種別 : 2023暦年のプレス系は1,550億円、前年比0.6%増の横ばいとみだ。国内・海外ともに自動車用のEV化対応での強弱はあるものの底堅く、まだまだ新規投資需要が期待できる。板金系は1,300億円、前年比0.2%の微減の横ばいとみだ。各種経済対策等による下支えに加え、調整局面とみえる半導体装置関連後半には持ち直すものとみられ、都市再開発を含む社会インフラ整備への建材関連も堅調とみだ。サービス系は880億円、前年比0.7%微減の横ばいとみだ。プレス系・板金系としてサービス系いずれも、2023年の受注見通しは多少のぼこぼこはあるものの2022年の横ばいとみだ。

国内 : 2023年の国内は1,600億円、前年比0.1%微増の横ばいとみだ。国内では政府による経済対策の下支えと、自動車生産の回復、半導体製造装置関連、社会インフラ再整備等への投資が引き続き期待されるとみだ。

輸出 : 2023年の輸出は1,250億円、前年比0.5%微増とみだ。中国経済の不安はあるものの、欧・米を中心にEV化対応による設備投資、新型コロナ禍後のASEAN、インド等新興国での回復が期待できるとみだ。

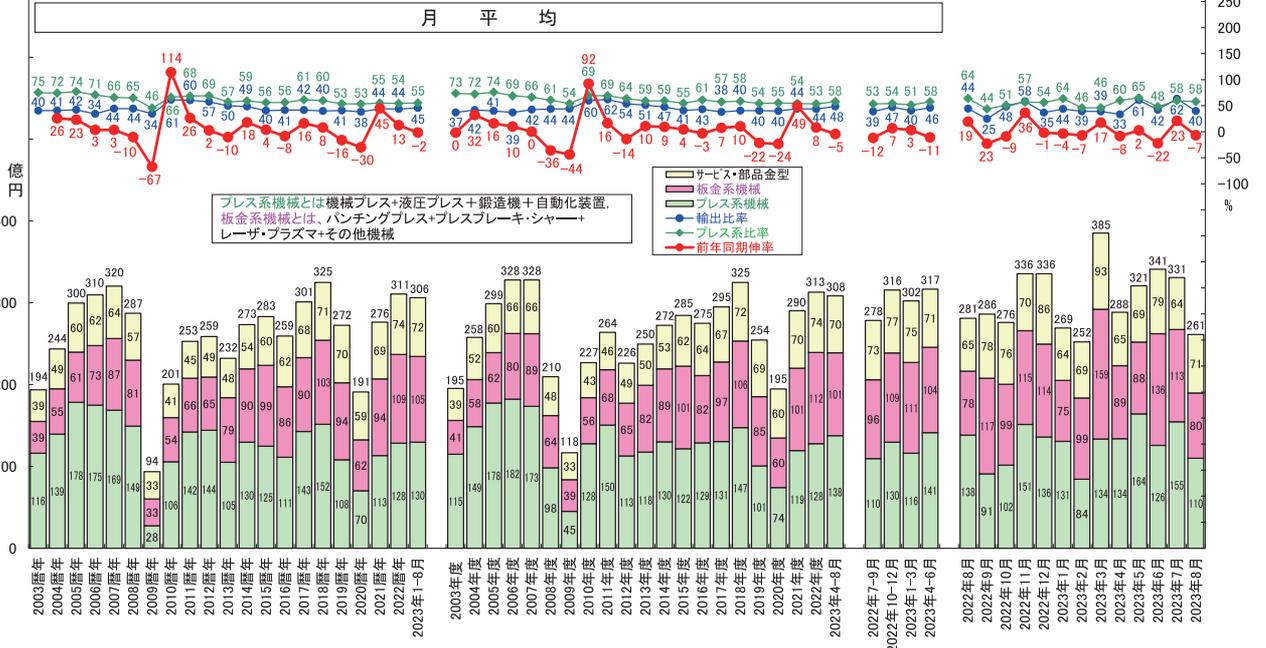


鍛圧機械 全会員受注グラフ (月次業況調査)

2023年8月度 鍛圧機械 全会員受注動向 月次業況調査コメント

- 概況 受注総計は261.3億円と、前年同月比で7.0%減であった。板金系は国内・輸出ともに微増であったが、プレス系が国内・輸出ともに減少となった。先月まで比較的好調に推移していたが、世界を取り巻く経済環境の継続的な不安定さと、ここには中国経済の先行き懸念の顕在化による影響がでてきていると思われる。
- 機種別 プレス系機械が109.9億円と20.4%減となった。中型・大型・超大型プレスは伸びたが、小型プレス、油圧プレス、フォーミングはマイナスであった。板金系機械は79.9億円と2.0%増であった。ハンチング2.4%増、レーザ・プラズマ14.5%増であったが、プレーキのみ9.5%減となった。サービス系は10.6%増であった。
- 内外別 国内は114.3億円、前年同月比5.5%の減であり、電気が42.5%増、輸送も49.1%増となったが、鉄鋼、金属、一般機械はマイナスであった。(機種別) 輸出は75.6億円、前年同月比20.9%の減であり、欧州向3.2倍、インド向58.1%増、東欧向2.5倍であったが、北米向4.2%減、中国向46.9%減、韓国・台湾向64.9%減となった。

鍛圧機械 全会員受注動向 月次業況調査 推移グラフ





(一社)日本工作機械工業会と(株)東京ビッグサイトが主催し、(一社)日本鍛圧機械工業会が協賛するJIMTOF2024<会期：2024年11月5日(火)～10日(日)>の出展申込が10月2日(月)より開始します。出展される会員各位はJIMTOF公式Webサイトよりお申込みください。

■ 出展申込期間(主催者・協賛団体会員)

2023年10月2日(月)9:00～10月31日(火)23:59

■ 出展申込方法

JIMTOF公式Webサイトの「出展申込フォーム」よりお申込みください。Webサイト以外からの申込みは出来ません。

【JIMTOF2024 出展申込ページURL】 <https://jimtof.org/jp/apply.html>

新聞報道  
から見た  
会員動向

日刊工業新聞、日経産業新聞、日本経済新聞、全国紙、一般紙などに掲載された会員の記事を抄録して順不同で掲載します。今回は、2023年6月7日から2023年9月4日に掲載された記事が対象ですが、決算、人事などの情報は除外しています。

日本鍛圧機械工業会+共通

- 5月の鍛圧機械受注、2カ月ぶり増 プレス・板金輸出好調  
2023/06/13 日刊工業新聞 9 ページ 802 文字
- MF-TOKYO2023/インタビュー日鍛工会長・北出安志氏  
2023/06/21 日刊工業新聞 11 ページ 1171 文字
- MF-TOKYO、きょう開幕 4年ぶりリアル開催  
2023/07/12 日刊工業新聞 1 ページ 397 文字
- 6月の鍛圧機械受注、22%減 中・韓・台向け不振  
2023/07/12 日刊工業新聞 8 ページ 519 文字
- 今年の鍛圧機械受注、3730 億円に上方修正 車生産回復  
2023/08/01 日刊工業新聞 10 ページ 786 文字
- ニュース拡大鏡/7月の鍛圧機械受注、23%増 2カ月ぶりプラス  
2023/08/09 日刊工業新聞 8 ページ 719 文字

プレス機械系

■アイダエンジニアリング

- アイダエンジニア、高速精密プレス機を増産 EV関連に集中…  
2023/07/11 日刊工業新聞 1 ページ 742 文字

■コマツ産機

- コマツ産機、大型サーボプレス向けシステム投入…をAI予測  
2023/08/16 日刊工業新聞 1 ページ 756 文字

■住友重機械工業

- EV距離伸ばす新プレス機 骨格3割軽く、住友重機「STAF」  
2023/06/23 日経産業新聞 9 ページ 絵写表有 2049 文字

■アイシス

- アイシス、高精度プレス機に架台拡張モデル  
2023/07/06 日刊工業新聞 8 ページ 458 文字

■型研精工

- 型研精工、可動式トランスファー装置開発 プレス機脱着9分  
2023/06/19 日刊工業新聞 9 ページ 672 文字

■しのはらプレスサービス

- しのはらプレスサービス、油圧クラッチブレーキ開発…停止性能向上  
2023/07/12 日刊工業新聞 9 ページ 641 文字

■ニデックドライブテクノロジー

- プレス機、利益率高める ニデック、米3社買収で「変革完結」…  
2023/08/29 日経産業新聞 3 ページ 絵写表有 2196 文字

板金機械系

■アマダ

- アマダプレス、電動車向けモーター用の平角銅線コイル加工機発売  
2023/06/13 日刊工業新聞 10 ページ 521 文字
- アマダ/板金加工の生産効率化支援ソフト  
2023/06/19 日刊工業新聞 23 ページ 196 文字

- アマダ、加工機の欧米生産拡大 300 億円投じ供給網強硬化  
2023/06/28 日刊工業新聞 1 ページ 777 文字
- アマダ、自律走行ロボ参入 生産状況に合わせ簡単運用  
2023/07/11 日刊工業新聞 10 ページ 791 文字
- アマダ、「RE100」加盟 全電力を再生エネ由来に  
2023/08/30 日刊工業新聞 8 ページ 533 文字

■相澤鉄工所

- 相澤鉄工所/厚板全自動シャーリング機、板厚9ミリ対応…  
2023/07/13 日刊産業新聞 3 ページ 635 文字
- 相澤鉄工所/中古機再生事業立ち上げ…  
2023/07/20 日刊産業新聞 4 ページ 814 文字

■オーセンテック

- オーセンテック、省エネバリ取り機を発売 吸着システム採用  
2023/07/27 日刊工業新聞 9 ページ 484 文字
- オーセンテック、バリ取り機を小型化 酸化皮膜・ドロス除去  
2023/08/31 日刊工業新聞 9 ページ 473 文字

■アルファTKG

- アルファTKG/教示1回、板金加工協働ロボ  
2023/08/21 日刊工業新聞 25 ページ 191 文字

■協和マシン

- 協和マシン、富山に新工場 曲げ加工機ライン受注増で  
2023/06/29 日刊工業新聞 1 ページ 664 文字

■澁谷工業

- 澁谷工業/「しはち」ワーク対応 レーザー加工機  
2023/07/24 日刊工業新聞 33 ページ 206 文字

■ユーザック

- ユーザック、集塵機に新シリーズ 粉塵舞わず騒音1割減  
2023/07/07 日刊工業新聞 9 ページ 342 文字

■HSG エンジニアリング

- 中国レーザ大手の「HSG」/三次元レーザ「TXシリーズ」を…  
2023/08/03 鉄鋼新聞 2 ページ 778 文字

フォーミング機械系・その他

■板屋製作所

- 板屋製作所、マルチフォーミング機・金型をセット提案…  
2023/06/09 日刊工業新聞 26 ページ 585 文字

■小森安全機研究所

- 小森安全機研、産業特化AIカメラ開発…危険エリアへの侵入検知  
2023/06/08 日刊工業新聞 8 ページ 758 文字

■大同マシナリー

- 大同マシナリー/CNCベンディングロール/大型機種を製品化…  
2023/07/13 鉄鋼新聞 3 ページ 663 文字

■中島田鉄工所

- 不変と革新 …中島田鉄工所 高い精度、一貫生産強み  
2023/07/31 日刊工業新聞 7 ページ 775 文字

■モリタアンドカンパニー

- モリタアンドカンパニー、中小に協働ロボ提案 工場に合わせ…  
2023/09/04 日刊工業新聞 News ウェーブ21 9 ページ 695 文字

# 一般社団法人 日本鍛圧機械工業会 会員一覧

2023年10月1日現在 五十音順・法人格省略

## 会員 (111社)

相澤鐵工所	住友重機械工業
アイシス	ゼロフォー
アイセル	ソノルカエンジニアリング
アイダエンジニアリング	大陽日酸
アサイ産業	大東スピニング
浅野研究所	大同マシナリー
旭サナック	ダイマック
旭精機工業	高千穂システムエンジニアリング
アマダ	タガミ・イーエクス
アミノ	伊達機械
アルファ TKG	ティーエス プレシジョン
ITACA JAPAN	東京精密発條
板屋製作所	東和精機
Eプラン	トルンプ
エイチアンドエフ	中島田鉄工所
エーエス	中田製作所
エステーリンク	ニシダ精機
エヌエスシー	ニデックドライブテクノロジー
榎本機工	日本オートマチックマシン
HSG エンジニアリング	能率機械製作所
大阪ジャッキ製作所	バーストロニックジャパン
大阪ロール工機	パスカル
オーセンテック	日高精機
大峰工業	日立 Astemo
オプトン	ファナック
型研精工	ファブエース
金澤機械	富士機工
川崎油工	富士商工マシナリー
川副機械製作所	フリーベアコーポレーション
関西鐵工所	PEM Japan
ギア	放電精密加工研究所
キャドマック	ホンダクリエティブ
キョウシンエンジニアリング	ホルビガー日本
協和マシン	松本製作所
栗本鐵工所	マテックス精工
京葉ベンド	万陽
ゲルブ・ジャパン	三菱長崎機工
KH エンジニアリング	宮崎機械システム
小池酸素工業	村田機械
向洋技研	メガテック
コータキ精機	モリタアンドカンパニー
コスメック	森鉄工
コニック	ヤマザキマザック
コマツ	山田ドビー
コマツ産機	山本水圧工業所
コムコ	油圧機工業
小森安全機研究所	ユーザック
阪村機械製作所	ユタニ
阪村ホットアート	吉田記念
サルバニーニジャパン	吉野機械製作所
三起精工	理研オプテック
三共製作所	理研計器奈良製作所
しのはらプレスサービス	理工社
澁谷工業	レーザ技術サービス
ジャンメ	ロス・アジア
杉山電機システム	



## 会報METAL FORM No.88 2023年10月

2023年10月1日発行 No.88 (季刊1,4,7,10の月の1日発行)

発行所 一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館3階 電話03(3432)4579(代)